

第49回松江市生活と健康を守る会総会



来賓あいさつする尾村利成県議

2月16日、生健会総会が開かれ、32名の会員が参加しました。

来賓としてしまね労連の池場哲也事務局長、松江市社会保障推進協議会の石田忍会長、共産党の尾村県議会議員から挨拶がありました。

生健会の総括と方針案の中で、昨年はゴミ袋問題など住民要求を掲げて運動したことや、来年度は国保問題を大きな運動として取り組むため、署名活動に力を入れることが確認されました。

2月16日、生健会総会が開かれ、32名の会員が参加しました。重要な議題は、時代の転換のき上げや国保料・後期高齢者窓口負担増の中でどう生きろというのか、テレビで取り上げた車上生活者は、松江にもいるのではないかなどの意見が出されました。

共産党の吉儀市議からは日の丸バスの減便で障害者など弱者の足の確保の問題、橋市議からは滋賀県野洲市の困っている人の生活再建への取り組み、が話されました。

総会は執行部提案のまとめと活動方針、会計を採択し閉会しました。

安倍政権を倒す年、再び国政の場へ！

大平義信さん（前衆議院議員）を、再び国政の場へ！

中国地方の代表として、何としても国政の場に送り出したい大平義信前衆議院議員。新しい松江へのメッセージが寄せられましたので紹介します。

増税だ

ダンナのこづかい

減らさなきゃ

ネット上で「消費税 川柳」と検索すると、哀愁ただよう一句がいくつでも出てきます。今年も確定申告の時期になり

ました。業者の皆さんにとつては、消費税の10%への増税と複数税率の導入が強行された最初の申告。煩雑で膨大な事務量に、その結果大変な負担増。怒り以外の何物でもありません。

日本共産党は一貫して消費税の廃止をめざし、まずは5%への減税を求め、財源は大企業や富裕層から応分の負担をとの対案を示しています。

例えばソフトバンクグループは、昨年度末決算で約2兆円の利益を上げながら、納税額は

もう一句発見

「上げるなら

支持率下げる

倍返し」

初めてのフラワーデモに参加して

吉儀敬子



フラワーデモで、一言発言をする参加者

2月11日、性暴力のない社会を求めるフラワーデモが、松江市で初めて開催されました。松江駅

前に小さな花束を持った女性達が次々と集まり、私も参加しました。

東京の一般社団法人Springからかけつけた山崎さんが、30人の集まった女性たちを「丸くなりましょう」と交通整理して、フラワーデモの成り立ちを説明し、「松江市で今回開かれることになり、喜んで駆け付けたい」と挨拶しました。

参加者全員が、一言ずつ思いを語りあいました。「高校生の頃、痴漢にあった経験が今でも思い出され、気分が悪くなる」との発言もありました。岡崎由美子弁護士は「今の刑法は、非常に狭い条件に合った性犯罪しか裁くことができない不十分な法律である。刑法性犯罪の改正を実現することが必要です」と現在の刑法改正に向けて声を上げ、運動することの必要性が語られました。

地域のことから国政まで

2月議会前に研修会・八束町

2月15日（土）松江市八束町で、「八束の明日を考える会」と「共産党八束町後援会」の共催で「地域のことから国政ま

で」と研修会が開かれ、30人が参加しました。

松江市の安倍俊一農政課長は、「TPPで農業は大変だが家族農業も大事にしたい、そば、薬用ニンジン、ボタンなど支援する」と述べました。

研修会では、尾村利成県議は県政について、「女性活躍会議の設置や福島原発視察などは評価しているが、国言いなりで、原発、農業問題、少人数学級制度の改善など問題が多い」、「国政でも、桜を見る会、IR汚職など悪政続き、共産党は党大会を開き、野党共闘で新しい政権を作ると決めた」など報告しました。

市議員は3人協力して、



研修会に参加する八束の皆さん

研修会では、尾村利成県議は県政について、「女性活躍会議の設置や福島原発視察などは評価しているが、国言いなりで、原発、農業問題、少人数学級制度の改善など問題が多い」、「国政でも、桜を見る会、IR汚職など悪政続き、共産党は党大会を開き、野党共闘で新しい政権を作ると決めた」など報告しました。

市議員は3人協力して、